

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	高齢者生活福祉センターふれあい羽衣	評価対象年度	平成 30 年度
指定管理者名	社会福祉法人 村上岩船福祉会	所管課	介護高齢課
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年)	評価者(課長)	小田 正浩

①事業実績

利用実績	平成30年度当初入居者数 12名、途中入退所 入所1名、退所1名、年度末入居者数 12名
サービス向上の取り組み	定期的に趣味の助長や季節に応じた行事を計画する。

②管理経費

区分	前年度 (H28年度)	当該年度 (H29年度)	当該年度 (H30年度)	合計	備考	
収入	指定管理料	8,318,000	13,162,800	13,501,080	34,981,880	指定期間における指定管理料の総額:66,875,280円
	利用料金	1,641,800	1,925,700	1,824,000	5,391,500	
	自主事業収入					
	その他	21	26,310	95,302	121,633	預金利息
	計	9,959,821	15,114,810	15,420,382	40,495,013	
支出	管理経費	9,959,821	15,084,810	15,420,382	40,465,013	
	(うち人件費)	5,225,000	10,216,120	10,203,000	25,644,120	
	(うち光熱水費)	2,074,821	2,090,000	2,129,720	6,294,541	電気、ガス、上下水道料金
	(うち修繕費)	97,950	300,000	638,280	1,036,230	建物等修繕費
	(うち委託料)	1,869,592	1,163,800	1,183,140	4,216,532	宿直・清掃・消防設備点検等
	(うちその他)	692,458	1,314,890	1,266,242	3,273,590	消耗品費・福利厚生・通信費他
	自主事業費					
計	9,959,821	15,084,810	15,420,382	40,465,013		
差引		30,000		30,000		

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	5	10.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
	(評価理由)	入居者の加齢が進み、様々な支援が必要な方が増えているが、家族・市・ケアマネージャーと連絡調整しながら適切な対応をしている。入居者の健康状態や必要な支援の内容を考慮し、他のサービス利用について助言を行うなどの対応も行き、良好な運営を行っている。			
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	4	6.4	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	1	0.8	
	利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか				
	(評価理由)	季節に応じて様々な行事を実施し、地域の行事や隣接する特別養護老人ホーム、デイサービスセンターの行事、ボランティアの慰問等に積極的に参加し、入居者の健康づくりや楽しみづくりを継続して行っている。入居者と積極的にコミュニケーションを図り、相談や要望にも随時対応している。自主事業については施設の性質により行っていない。			
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費削減の具体的な取り組みはされているか			
適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4	
	指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか				
	(評価理由)	廊下の床暖房は使用せず、共有の暖房等は節電、消耗品の節約に努める等、施設運営経費の節減に取り組みながら、適切な管理運営に努めている。			

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	5	4.0
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	5	4.0
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	5	4.0
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	(評価理由) 計画どおりに職員を配置し、適切に業務を実施している。隣接する特別養護老人ホームが実施する、食中毒、感染症予防等の研修、防災委員会などの会議に出席し、職員の知識や資質の向上を図っている。職員間で情報を共有し、入居者からの申し出に対し素早く対応する体制を整えている。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	5	8.0
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由) 隣接する特別養護老人ホームと連携し、総合防災訓練や水害を想定した避難訓練を実施し、非常時に対する体制も整えている。				

④総合評価

評価点合計	83.6	評価ランク	A
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

入所者の加齢が進み、入居者1人に関わる時間が増えているが、関係者と調整を図りながら、個人にあった支援方法や不安解消に職員が努力している。各種研修を通じ職員の知識や資質の向上を図っており、スタッフ間で情報共有しながら、入居者の相談や要望等にも随時対応している。施設運営においては、経費の節減を意識しながら、適切な維持管理に努めており、全体的に良好な管理運営が行われている。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

これまでと同様に施設の適切な管理運営に努め、職員の知識や資質の向上を図りながら、入居者の様々なケースに対応するための支援体制の向上に引き続き取り組み、入居者が安心して楽しく過ごせる環境の整備に継続して取り組んでいただきたい。

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5~1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク区分
S 95.0以上
A 80.0以上95.0未満
B 60.0以上80.0未満
C 60.0未満